

修了者の新司法試験合格状況(入学定員規模順)

【平成17年度修了者】

(人)

NO.	大学名	入学定員 (H20)	修了者数(A)	合格者数				B/A (%)	A-B
				H18合格者	H19合格者	H20合格者	合格者計(B)		
1	東京大学	300	178	120	25	5	150	84.3	28
2	中央大学	300	245	131	45	10	186	75.9	59
3	早稲田大学	300	20	12	3	2	17	85.0	3
4	慶應義塾大学	260	173	104	26	4	134	77.5	39
5	京都大学	200	134	87	23	2	112	83.6	22
6	明治大学	200	97	43	23	6	72	74.2	25
7	同志社大学	150	91	35	21	3	59	64.8	32
8	立命館大学	150	105	27	26	8	61	58.1	44
9	関西大学	130	51	18	11	2	31	60.8	20
10	関西学院大学	125	66	28	8	3	39	59.1	27
11	北海道大学	100	41	26	5	1	32	78.0	9
12	東北大学	100	45	20	5	4	29	64.4	16
13	一橋大学	100	60	44	7	1	52	86.7	8
14	大阪大学	100	21	10	5	2	17	81.0	4
15	神戸大学	100	62	40	9	1	50	80.6	12
16	九州大学	100	14	7	3	2	12	85.7	2
17	上智大学	100	52	17	11	3	31	59.6	21
18	日本大学	100	58	7	8	7	22	37.9	36
19	法政大学	100	66	23	8	4	35	53.0	31
20	名古屋大学	80	29	17	6	0	23	79.3	6
21	明治学院大学	80	18	8	3	1	12	66.7	6
22	大阪市立大学	75	27	18	5	1	24	88.9	3
23	立教大学	70	20	7	4	1	12	60.0	8
24	首都大学東京	65	41	17	5	1	23	56.1	18
25	学習院大学	65	50	15	14	0	29	58.0	21
26	新潟大学	60	10	5	0	0	5	50.0	5
27	岡山大学	60	12	4	2	0	6	50.0	6
28	広島大学	60	12	3	5	1	9	75.0	3
29	駿河台大学	60	22	2	4	2	8	36.4	14
30	青山学院大学	60	14	5	1	2	8	57.1	6
31	専修大学	60	54	9	14	5	28	51.9	26
32	京都産業大学	60	2	0	0	0	0	0.0	2
33	近畿大学	60	6	3	0	1	4	66.7	2
34	甲南大学	60	19	5	5	0	10	52.6	9
35	神戸学院大学	60	3	0	1	-	1	33.3	2
36	千葉大学	50	28	15	6	3	24	85.7	4
37	横浜国立大学	50	10	5	4	1	10	100.0	0
38	國學院大学	50	2	1	1	-	2	100.0	0
39	駒澤大学	50	19	1	4	2	7	36.8	12
40	成蹊大学	50	25	11	5	0	16	64.0	9
41	創価大学	50	14	8	4	0	12	85.7	2
42	大東文化大学	50	20	4	0	1	5	25.0	15
43	東海大学	50	3	0	0	0	0	0.0	3
44	東洋大学	50	24	4	7	1	12	50.0	12
45	神奈川大学	50	15	4	5	1	10	66.7	5
46	南山大学	50	10	5	1	0	6	60.0	4
47	名城大学	50	5	2	2	0	4	80.0	1
48	西南学院大学	50	4	2	1	-	3	75.0	1
49	福岡大学	50	5	3	1	-	4	80.0	1
50	金沢大学	40	2	1	1	-	2	100.0	0
51	山梨学院大学	40	12	6	2	1	9	75.0	3
52	愛知大学	40	19	13	2	-	15	78.9	4
53	姫路獨協大学	40	8	0	1	0	1	12.5	7
54	久留米大学	40	4	1	1	-	2	50.0	2
55	島根大学	30	1	1	-	-	1	100.0	0
56	熊本大学	30	4	1	1	0	2	50.0	2
57	白鷗大学	30	7	3	1	1	5	71.4	2
58	関東学院大学	30	17	1	5	3	9	52.9	8
	計	5,070	2,176	1,009	396	99	1,504	69.1	672

※平成17年度修了者は平成16年度入学の法学既修者のみ。

※筑波大学、信州大学、静岡大学、香川大学、鹿児島大学、琉球大学、北海学園大学、東北学院大学、大宮法科大学院大学、獨協大学、桐蔭横浜大学、愛知学院大学、中京大学、龍谷大学、大阪学院大学、広島修道大学は平成17年度修了者なし。

修了者の新司法試験合格状況(入学定員規模順)

【平成18年度修了者】

(人)

NO.	大学名	入学定員(H20)	修了者数			合格者数									B/A (%)	A-B
			修了者数(A)	既修	未修	H19合格者	既修	未修	H20合格者	既修	未修	合格者計(B)	既修	未修		
1	東京大学	300	282	187	95	153	115	38	45	31	14	198	146	52	70.2	84
2	中央大学	300	217	152	65	108	89	19	31	26	5	139	115	24	64.1	78
3	早稲田大学	300	246	10	236	112	8	104	29	2	27	141	10	131	57.3	105
4	慶應義塾大学	260	234	161	73	147	106	41	21	14	7	168	120	48	71.8	66
5	京都大学	200	189	137	52	112	95	17	17	13	4	129	108	21	68.3	60
6	明治大学	200	174	99	75	57	38	19	22	13	9	79	51	28	45.4	95
7	同志社大学	150	132	89	43	36	19	17	22	16	6	58	35	23	43.9	74
8	立命館大学	150	132	95	37	36	33	3	9	8	1	45	41	4	34.1	87
9	関西大学	130	130	70	60	21	17	4	12	9	3	33	26	7	25.4	97
10	関西学院大学	125	113	61	52	31	15	16	19	12	7	50	27	23	44.2	63
11	北海道大学	100	95	52	43	43	25	18	8	5	3	51	30	21	53.7	44
12	東北大学	100	79	49	30	42	29	13	15	7	8	57	36	21	72.2	22
13	一橋大学	100	90	67	23	54	37	17	15	13	2	69	50	19	76.7	21
14	大阪大学	100	77	7	70	27	6	21	9	1	8	36	7	29	46.8	41
15	神戸大学	100	80	61	19	37	30	7	23	18	5	60	48	12	75.0	20
16	九州大学	100	79	3	76	26	2	24	5	-	5	31	2	29	39.2	48
17	大宮法科大学院大学	100	64	-	64	6	-	6	6	-	6	12	-	12	18.8	52
18	上智大学	100	78	44	34	29	20	9	15	11	4	44	31	13	56.4	34
19	日本大学	100	96	39	57	6	3	3	10	5	5	16	8	8	16.7	80
20	法政大学	100	106	81	25	16	14	2	10	8	2	26	22	4	24.5	80
21	名古屋大学	80	65	20	45	35	15	20	3	1	2	38	16	22	58.5	27
22	明治学院大学	80	49	2	47	8	0	8	8	1	7	16	1	15	32.7	33
23	大阪市立大学	75	71	39	32	26	20	6	12	6	6	38	26	12	53.5	33
24	立教大学	70	57	22	35	13	5	8	7	3	4	20	8	12	35.1	37
25	桐蔭横浜大学	70	47	-	47	9	-	9	5	-	5	14	-	14	29.8	33
26	首都大学東京	65	61	44	17	23	18	5	11	8	3	34	26	8	55.7	27
27	学習院大学	65	42	29	13	5	4	1	6	3	3	11	7	4	26.2	31
28	新潟大学	60	36	1	35	8	0	8	3	0	3	11	0	11	30.6	25
29	岡山大学	60	24	-	24	8	-	8	0	-	0	8	-	8	33.3	16
30	広島大学	60	29	10	19	6	2	4	7	2	5	13	4	9	44.8	16
31	駿河台大学	60	54	18	36	5	1	4	2	1	1	7	2	5	13.0	47
32	青山学院大学	60	45	5	40	6	0	6	4	0	4	10	0	10	22.2	35
33	専修大学	60	42	30	12	5	3	2	6	6	0	11	9	2	26.2	31
34	京都産業大学	60	47	-	47	7	-	7	3	-	3	10	-	10	21.3	37
35	近畿大学	60	22	1	21	2	-	2	0	-	0	2	-	2	9.1	20
36	甲南大学	60	39	8	31	6	2	4	4	1	3	10	3	7	25.6	29
37	神戸学院大学	60	18	-	18	3	-	3	0	-	0	3	-	3	16.7	15
38	千葉大学	50	55	34	21	34	18	16	4	3	1	38	21	17	69.1	17
39	横浜国立大学	50	39	13	26	9	3	6	7	1	6	16	4	12	41.0	23
40	東北学院大学	50	34	-	34	3	-	3	5	-	5	8	-	8	23.5	26
41	獨協大学	50	37	1	36	6	1	5	3	-	3	9	1	8	24.3	28
42	國學院大学	50	35	2	33	5	1	4	2	1	1	7	2	5	20.0	28
43	駒澤大学	50	34	9	25	4	1	3	4	0	4	8	1	7	23.5	26
44	成蹊大学	50	47	19	28	11	7	4	9	3	6	20	10	10	42.6	27
45	創価大学	50	40	8	32	16	4	12	2	0	2	18	4	14	45.0	22
46	大東文化大学	50	30	7	23	4	0	4	0	0	0	4	0	4	13.3	26
47	東海大学	50	23	-	23	2	-	2	1	-	1	3	-	3	13.0	20
48	東洋大学	50	42	18	24	5	0	5	1	1	0	6	1	5	14.3	36
49	神奈川大学	50	34	2	32	3	1	2	1	1	0	4	2	2	11.8	30
50	南山大学	50	27	3	24	9	3	6	3	-	3	12	3	9	44.4	15
51	名城大学	50	21	2	19	4	0	4	1	0	1	5	0	5	23.8	16
52	大阪学院大学	50	36	3	33	2	1	1	0	-	0	2	1	1	5.6	34
53	広島修道大学	50	29	3	26	6	2	4	3	1	2	9	3	6	31.0	20
54	西南学院大学	50	44	2	42	6	1	5	0	0	0	6	1	5	13.6	38
55	福岡大学	50	21	2	19	5	1	4	5	-	5	10	1	9	47.6	11
56	金沢大学	40	31	-	31	7	-	7	2	-	2	9	-	9	29.0	22
57	山梨学院大学	40	35	6	29	8	1	7	2	0	2	10	1	9	28.6	25
58	愛知大学	40	26	11	15	5	2	3	3	2	1	8	4	4	30.8	18
59	姫路獨協大学	40	28	8	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	28
60	久留米大学	40	37	-	37	0	-	0	2	-	2	2	-	2	5.4	35
61	島根大学	30	28	-	28	3	-	3	4	-	4	7	-	7	25.0	21
62	香川大学	30	20	-	20	3	-	3	2	-	2	5	-	5	25.0	15
63	熊本大学	30	25	2	23	1	0	1	3	1	2	4	1	3	16.0	21
64	鹿児島大学	30	29	-	29	2	-	2	0	-	0	2	-	2	6.9	27
65	琉球大学	30	19	-	19	7	-	7	2	-	2	9	-	9	47.4	10
66	白鷲大学	30	20	2	18	3	0	3	0	0	0	3	0	3	15.0	17
67	関東学院大学	30	27	1	26	4	1	3	1	-	1	5	1	4	18.5	22
68	中京大学	30	21	1	20	4	0	4	4	0	4	8	0	8	38.1	13
	計	5560	4415	1852	2563	1455	819	636	500	258	242	1955	1077	878	44.3	2460

※筑波大学、信州大学、静岡大学、北海学園大学、愛知学院大学、龍谷大学は平成18年度修了者なし

平成20年度法科大学院における教育体制について

1. 専任教員数（人） 平成20年4月1日現在

①法科大学院における専任教員の状況（総表）

区 分			科目分類										
			A. 憲法	B. 行政法	C. 民法	D. 商法	E. 民事 訴訟法	F. 刑法	G. 刑事 訴訟法	H. 実務基礎 科目	I. 基礎法学 ・隣接科目	J. 展開・ 先端科目	合計
研究者	専	A. 当該法科大学院の 授業のみ担当	28	24	63	28	35	30	22	0	5	15	250
		B. 他学部・他大学院・ 他専攻の授業も担当	63	48	146	80	40	64	32	9	34	97	613
	専 他	C. 他学部・他大学院・ 他専攻とのダブルカウント (博士後期課程除く)	12	14	28	17	10	16	11	2	14	37	161
		D. 博士後期課程との ダブルカウント	13	8	10	13	11	7	6	2	14	51	135
		E. うち、法学 を専攻する博 士後期課程の 研究指導教員	12	6	8	11	10	5	5	2	12	40	111
実 務 家	F. 実専		3	9	57	17	32	18	36	95	7	40	314
	G. 実専他		0	1	2	0	1	1	0	3	3	5	16
	H. 実み		2	4	19	9	14	7	22	124	0	31	232
合 計			121	108	325	164	143	143	129	235	77	276	1,721

「専」 … 「専他」、「実専」、「実専他」、「実み」以外の専任教員

「専他」 … 専門職大学院設置基準（平成15年文部科学省令第16号）附則第2項の規定により、学内の他の学部又は大学院の専任教員の数に算入する専任教員

「実専」 … 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成15年文部科学省告示第53号）第2条第1項に規定する専任教員

「実専他」 … 専門職大学院に関し必要な事項について定める件第2条第1項に規定する専任教員のうち、専門職大学院設置基準附則第2項の規定により、学内の他の学部又は大学院の専任教員の数に算入する者

「実み」 … 専門職大学院に関し必要な事項について定める件第2条第2項の規定により専任教員とみなす者

①-1 法科大学院における専任教員の状況(専任教員の種類別)

	入学定員	基準専任教員数	専任教員内訳								
			専任教員総数	A.専 (LSのみ)	B.専 (LS+他学部等)	C.専他 (博士後期除く)	D.専他 (博士後期)	E.うち、法学・博士後期・研究指導	F.実専	G.実専他	H.実み
国立計	1,760	404	599	52	263	47	70	47	82	14	71
公立計	140	28	30	0	13	4	5	5	3	0	5
私立計	3,895	856	1,092	198	337	110	60	59	229	2	156
国公私計	5,795	1,288	1,721	250	613	161	135	111	314	16	232

①-2 法科大学院における専任教員の状況(科目群別、研究者教員・実務家教員別)

	入学定員	基準専任教員数	専任教員総数	科目群別				研究者教員・実務家教員別			
				法律基本科目		法律基本科目以外		研究者教員		実務家教員	
				法律基本科目	比率	法律基本科目以外	比率	研究者教員	比率	実務家教員	比率
大規模校計	3,115	623	768	478	62.2%	290	37.8%	540	70.3%	228	29.7%
中規模校計	1,165	233	349	235	67.3%	114	32.7%	232	66.5%	117	33.5%
小規模校計	1,515	432	604	420	69.5%	184	30.5%	387	64.1%	217	35.9%
合計	5,795	1,288	1,721	1,133	65.8%	588	34.2%	1,159	67.3%	562	32.7%
大規模校平均	155.8	31.2	38.4	23.9	62.2%	14.5	37.8%	27.0	70.3%	11.4	29.7%
中規模校平均	64.7	12.9	19.4	13.1	67.3%	6.3	32.7%	12.9	66.5%	6.5	33.5%
小規模校平均	42.1	12.0	16.8	11.7	69.5%	5.1	30.5%	10.8	64.1%	6.0	35.9%
全大学平均	78.3	17.4	23.3	15.3	65.8%	7.9	34.2%	15.7	67.3%	7.6	32.7%

①-3 法科大学院における専任教員の状況(ダブルカウントの状況)

	入学定員	基準専任教員数	専任教員総数	うち				
				ダブルカウント教員数	法律基本科目 (A~G)	実務基礎(H)	基礎法(I)	展開・先端(J)
大規模校計	3,115	623	768	141	71	3	19	48
中規模校計	1,165	233	349	49	33	1	2	13
小規模校計	1,515	432	604	122	77	3	10	32
合計	5,795	1,288	1,721	312	181	7	31	93
大規模校平均	155.8	31.2	38.4	7.1	3.6	0.2	1.0	2.4
中規模校平均	64.7	12.9	19.4	2.7	1.8	0.1	0.1	0.7
小規模校平均	42.1	12.0	16.8	3.4	2.1	0.1	0.3	0.9
全大学平均	78.3	17.4	23.3	4.2	2.4	0.1	0.4	1.3

「大規模校」・・・定員100名以上の大学(20校)

「中規模校」・・・定員51名以上100名未満の大学(18校)

「小規模校」・・・定員50名以下の大学(36校)

2. 平成20年度研究者・専任教員の年間担当授業単位数

区 分		授業単位数						合計
		0～2 単位	3～6 単位	7～10 単位	11～14 単位	15～18 単位	19～ 単位	
専	A. 当該法科大学院の 授業のみ担当	7	39	60	83	45	16	250
	B. 他学部・他大学院・ 他専攻の授業も担当	33	186	149	95	49	101	613
専 他	C. 他学部・他大学院・ 他専攻とのダブルカウント (博士後期課程除く)	20	66	33	23	11	8	161
	D. 博士後期課程との ダブルカウント	23	53	31	10	8	10	135
	E. うち、法学を専攻する博士 後期課程の研究指導教員	22	41	26	9	7	6	111
合 計		83	344	273	211	113	135	1,159

「専他」… 専門職大学院設置基準（平成15年文部科学省令第16号）附則第2項の規定により、学内の他の学部又は大学院の専任教員の数に算入する専任教員

3. 今後、専任教員確保がより困難になると考えられる分野

○法律基本科目 計 57校 (77.0%) ※1科目でも「困難」と回答があった法科大学院
※計7科目、回答数延べ160

A. 憲法	計 8校 (10.8%)
B. 行政法	計 29校 (39.2%)
C. 民法	計 29校 (39.2%)
D. 商法	計 16校 (21.6%)
E. 民事訴訟法	計 35校 (47.3%)
F. 刑法	計 12校 (16.2%)
G. 刑事訴訟法	計 31校 (41.9%)

※全科目「困難」との回答がなかった法科大学院 計 17校 (23.0%)

※全科目「困難」と回答した法科大学院 計 6校 (8.1%)

○実務基礎科目 計 9校 (12.2%) ※1科目でも「困難」と回答があった法科大学院
※計11科目、回答数延べ21

- ・民事訴訟実務の基礎、刑事訴訟実務の基礎、模擬裁判、ロイヤリング … 各3校
- ・法曹倫理 … 2校
- ・法情報調査、企業法務、エクスターンシップ、クリニック、法文書作成、
実務基礎科目全体 … 各1校

○基礎法学・隣接科目 計 6校 (8.1%) ※1科目でも「困難」と回答があった法科大学院
※計12科目、回答数延べ14

- ・法哲学、英米法（アメリカ法） … 各2校
- ・法理学、日本法の歴史、西洋法の歴史、刑事政策、政治学、法社会学、
面接交渉論、公共政策論（政策法務）、地方自治の現状と課題、
法医学（医療と法） … 各1校

○展開・先端科目 計 20校 (27.0%) ※1科目でも「困難」と回答があった法科大学院
※計24科目、回答数延べ65

- ・知的財産法 … 10校
- ・環境法 … 9校
- ・経済法 … 7校
- ・国際私法 … 6校
- ・国際取引法 … 5校
- ・税法（租税法）、倒産法（倒産処理法、執行倒産法） … 各4校
- ・社会保障法、労働法、国際公法 … 各2校
- ・国際法適用論、労使関係法、雇用関係法、民事保全・執行法、破産法、
消費者法、紛争とその法的解決Ⅰ、紛争とその法的解決Ⅱ、医事法、
法医学、ITと著作権、アメリカ法調査、家族と法、国際経済法 … 各1校

(1) 法科大学院における到達目標等の設定状況について

① 貴法科大学院において修了時までには修得すべき知識・能力についてどのような目標を設定していますか。

- A. 設定している … 67校 (90.5%)
 B. 設定していない … 7校 (9.5%)

② 各科目の成績評価について、成績分布の基準を設けていますか。

- A. 設けている … 62校 (83.8%)
 B. 設けていない … 12校 (16.2%)

③ 各科目の単位認定は、どのように行っていますか。

- A. 各教員の判断に委ねている … 33校 (44.6%)
 B. 各授業科目ごとに複数の教員間で協議 … 12校 (16.2%)
 C. 学習分野ごとに複数の教員間で協議 … 1校 (1.4%)
 D. その他 … 28校 (37.8%)

(2) 法学未修者の教育内容について

① 現在、法学未修者が法学既修者と合流して同じ授業をうけるのはどの段階を終了した時点ですか。

※法学既修者コースがある法科大学院のみ回答

①-1 公法系

- A. 法学未修者の1年終了時 … 62校 (83.8%)
 B. 法学未修者の1年半終了時 … 1校 (1.4%)
 C. 法学未修者の2年終了時 … 1校 (1.4%)
 D. 一貫して法学未修者と既修者は別々に行う … 1校 (1.4%)
 E. その他 … 1校 (1.4%)

①-2 民事系

- A. 法学未修者の1年終了時 … 62校 (83.8%)
 B. 法学未修者の1年半終了時 … 1校 (1.4%)
 C. 法学未修者の2年終了時 … 1校 (1.4%)
 D. 一貫して法学未修者と既修者は別々に行う … 1校 (1.4%)
 E. その他 … 1校 (1.4%)

①-3 刑事系

- | | | |
|------------------------|---|-------------|
| A. 法学未修者の1年終了時 | … | 62校 (83.8%) |
| B. 法学未修者の1年半終了時 | … | 1校 (1.4%) |
| C. 法学未修者の2年終了時 | … | 1校 (1.4%) |
| D. 一貫して法学未修者と既修者は別々に行う | … | 1校 (1.4%) |
| E. その他 | … | 1校 (1.4%) |

② 法律実務基礎科目について、主に何年時に行っていますか。

- | | | |
|----------|---|-------------|
| A. 1年次 | … | 1校 (1.4%) |
| B. 2年次 | … | 5校 (6.8%) |
| C. 3年次 | … | 8校 (10.8%) |
| D. 1～2年次 | … | 1校 (1.4%) |
| E. 2～3年次 | … | 49校 (66.2%) |
| F. 1～3年次 | … | 10校 (13.5%) |

(3) 法科大学院の授業時間数・修了要件について

貴法科大学院の修了要件の単位数について回答してください。

- | | | |
|-----------|---|-------------|
| ・ 93単位以上 | … | 8校 (10.8%) |
| ・ 94単位以上 | … | 20校 (27.0%) |
| ・ 95単位以上 | … | 7校 (9.5%) |
| ・ 96単位以上 | … | 22校 (30.0%) |
| ・ 97単位以上 | … | 2校 (2.7%) |
| ・ 98単位以上 | … | 8校 (10.8%) |
| ・ 99単位以上 | … | 2校 (2.7%) |
| ・ 100単位以上 | … | 5校 (6.8%) |

法科大学院の認証評価について

制度の概要

- ・ 認証評価機関は、法科大学院の教育課程や教員組織等の教育研究活動の状況について評価（5年以内ごと）を行い、評価基準に適合しているか否かの認定（「適格認定」）を行う。
- ・ 大学等は複数の認証評価機関の中から評価を受ける機関を選択。

文部科学大臣による認証評価機関の認証

- ・ 認証評価機関として必要な評価の基準、方法、体制等についての一定の基準（認証基準）を、省令により規定。
- ・ 認証評価機関になろうとする者は、文部科学大臣に申請の上、中央教育審議会の審議を経て、文部科学大臣より認証を受ける。
- ・ その際、各認証評価機関は、当該団体が行う評価基準についても、予め詳細を明示した上で、審議・認証を受ける。

法科大学院を対象とした認証評価機関

- （財）日弁連法務研究財団（平成16年8月31日認証）
- （独）大学評価・学位授与機構（平成17年1月14日認証）
- （財）大学基準協会（平成19年2月16日認証）

認証評価の実績 68大学（適格46、不適格22）

- （財）日弁連法務研究財団…27学（適格20、不適格7）
 - 平成18年 2大学（適格2）
 - 平成19年 11大学（適格10、不適格1）
 - 平成20年上期 7大学（適格4、不適格3）
 - 平成20年下期 7大学（適格4、不適格3）
- （独）大学評価・学位授与機構…25大学（適格19、不適格6）
 - 平成19年 9大学（適格5、不適格4 ※うち3大学は平成20年度の追評価で適格と認定）
 - 平成20年 16大学（適格14、不適格2）
- （財）大学基準協会…16大学（適格7、不適格9）
 - 平成19年 2大学（適格2）
 - 平成20年 14大学（適格5、不適格9）

法科大学院の認証評価受審状況

（ ）は不適格となった大学数
平成21年3月31日現在

	日弁連 法務研究財団	大学評価・ 学位授与機構	大学基準協会	合 計
平成18年度	2 (0)	-	-	2 (0)
平成19年度	11 (1)	9 (4)	2 (0)	22 (5)
平成20年度	14 (6)	16 (2)	14 (9)	44 (17)
合 計	27 (7)	25 (6)	16 (9)	68 (22)

認証評価機関の評価基準と授業科目群ごとの単位数の状況

	法科大学院の教育内容・方法等に関する中間まとめ《平成14年1月22日法科大学院の教育内容・方法等に関する研究会》	認証評価機関					法科大学院の例				
		大学評価・学位授与機構		日弁連法務研究財団		大学基準協会	A大学	B大学	C大学		
法律基本科目	54単位 ※ 必修単位数の加重は15%以内	法律基本科目、法律実務基礎科目、基礎法学・隣接科目、展開・先端科目のすべてにわたって教育上の目的に応じて適当と認められる単位数以上の授業科目が開設されているとともに、学生の授業科目の履修がいずれかに過度に偏ることがないよう配慮されていること。	(修了要件)42単位以上(開設)54単位標準 上限62単位(54単位の加重15%に相当する8単位増)		—		59単位	58単位	60単位		
法律実務基礎科目	9単位		修了要件単位数の3分の1以上	6単位以上 (上記のほか、平成23年度までに4単位相当を必修又は選択必修)	授業科目が法律基本科目、法律実務基礎科目、基礎法学・隣接科目、展開・先端科目の全てにわたって設定され、学生の履修が各科目のいずれかに過度に偏ることのないように配慮されていること。	33単位以上の履修	6単位以上	学生の履修が、法律基本科目、法律実務基礎科目、基礎法学・隣接科目、展開・先端科目のいずれかに過度に偏らないよう規定するなど、適切に配慮されているか。	10単位	14単位	13単位
基礎法学・隣接科目	4単位			4単位以上			4単位以上		29単位以上 基礎法学4単位以上	21単位以上 基礎法学6単位以上 展開先端12単位以上	20単位以上 基礎法学4単位以上 展開先端10単位以上
展開・先端科目	26単位程度(総単位数の1/4から1/3程度)			12単位以上			—				

法科大学院教育の改善に関するヒアリングの結果概要

1. ヒアリングの目的：

本ヒアリングは、「法科大学院教育の質の向上のための改善方策について（中間まとめ）」における「改善の方向性」に基づいて、各法科大学院教育の課題や改善方針等を把握するとともに、それを踏まえた具体的な改善の促進を図る。

2. 実施時期：平成 20 年 10 月 20 日～11 月 11 日

3. ヒアリング対象：法科大学院を設置する全大学（国公私）

4. 主要な聴取事項

（1）入学者の質と多様性の確保に関する取組状況について

- ・競争性の確保に関する取組状況について
- ・適性試験の改善に関する取組状況について
- ・多様な人材の確保に関する取組状況について

（2）修了者の質の保証に関する取組状況について

- ・共通的な到達目標の設定と達成度評価方法に関する取組状況について
- ・教育内容の充実と厳格な成績評価・修了認定の徹底に関する取組状況について
- ・司法試験の合格者数の一定の確保に関する取組状況について

（3）教育体制の充実に関する取組状況について

- ・質の高い教員の確保に関する取組状況について
- ・入学定員の見直しと大学における教育課程の共同実施・統合等の促進に関する取組状況について
- ・教員養成体制の構築に関する取組状況について
- ・教員の教育能力の向上に関する取組状況について

（4）積極的な情報公開の促進に関する取組状況について

5. ヒアリング結果の概要

(1) 入学者の質と多様性の確保に関する取組状況

① 競争性の確保

全体的な志願者数の減少に伴い、多くの法科大学院において、競争倍率が減少しており、競争倍率が2倍を切っている法科大学院も複数見られた。各法科大学院においては、教育の成果の広報活動の充実や他地域での入試説明会・入試の実施、さらには入学定員の見直しなど、入学者選抜の競争性の確保のための改善について検討している。なお、複数の法科大学院から、「質の低下」論による全国的な受験生の減少に対して、全体的な入学定員の見直しによる合格率の向上など、法科大学院受験者を増やすための方策を考える必要があるとの意見が寄せられた。

② 適性試験の改善

多くの法科大学院の入学者選抜では、適性試験の成績だけでなく総合判定方式となっているが、競争倍率が低い法科大学院の多くが適性試験の著しく低い者が入学している状況が散見された。このうち、複数の法科大学院においては、独自に最低基準点を設定し、状況を改善していく意向が見られた。一方、多くの法科大学院から、適性試験の成績と入学後の法科大学院での成績に相関関係がないので、適性試験の低い点数の者を入学させざるを得ず、試験内容の検証及び改善を求められた。

③ 多様な人材の確保

ほとんどの法科大学院では、現状において、社会人・他学部出身者が一定数確保されている。しかし、今後予想される志願者数の減少に伴い、社会人入学者の数も減少していくことを鑑み、多くの法科大学院において、社会人などの未修者の学習支援体制の構築や長期履修制度導入の検討を行っている。

(2) 修了者の質の保証に関する取組状況

① 共通的な到達目標の設定と達成度評価方法

多くの法科大学院で、修了時の到達目標、学年ごと、科目ごとの到達目標の設定がなされており、現在、策定中の全国的な共通の到達目標の設定が行われた際には、それを踏まえて自学の到達目標を検討する方向である。

② 教育内容の充実と厳格な成績評価・修了認定の徹底

全般的に厳格な成績評価・修了認定が行われ、通常の修業年限内で修了できない者の割合も3割程度に達している。しかしながら、修了率が9割近くとなっているが司法試験に不合格となる者が多く見られる例、1年次から2年次に進級する際の要件が単位取得のみをもって行われている例など、厳格な成績評価・修了認定が十分行われているとは言い難い法科大学院も複数見られた。これらの法科大学院においては、今後、修了試験の実施やGPAの数値を進級時や修了時の判定の際に導入することなどの大幅な改善を図る予定となっている。

(3) 教育体制の充実に関する取組状況

① 質の高い教員の確保

多くの法科大学院においては、現状においては、ダブルカウントが解消され、必要な専任教員が確保されている。しかしながら、今後、定年退職者や突然の辞職者等の補充のため、学内の他研究科や他法科大学院との連携により、教員体制の充実を図るとする法科大学院が見られた一方、将来的な採用の対応について十分検討されていない法科大学院も見られた。

② 入学定員の見直しと法科大学院の教育課程の共同実施・統合等の促進

中間まとめで提示された、①質の高い教員の数の確保が困難、②入学者の質の確保が困難、③修了者の多くが司法試験に合格していない状況が継続しているといった状況にあてはまるいくつかの法科大学院で、具体的な入学定員の見直しが行われているが、現時点で入学定員の見直しを十分に行っていない法科大学院も見られる。また、教育水準及び教育体制の維持に懸念が見られる法科大学院についても、共同教育課程の設置・統合などの方策について十分な検討がなされていない、あるいは、今後検討する予定もないという状況であった。中間まとめに示された3要件にあてはまる法科大学院は率先して抜本的な入学定員の見直しを検討する必要がある一方、複数の法科大学院から、地方の法曹養成機関の適正配置の必要性や大規模校の率先した定員削減の必要性を唱える意見も見られた。

③ 教員養成体制の構築

多くの法科大学院において、教員養成の必要性は認識されており、外国法や研究論文などの科目の開設が行われているが、履修者や後期博士課程への進学希望者の実績がともに少ない状況が見られる。このため、研究者を目指す学生のための奨学金の導入や、博士課程への入学を容易にするための法学研究科との連携体制の構築など今後の改善策を検討している法科大学院が見られた。

④ 教員の教育能力の向上

ほぼすべての法科大学院において、FDのための組織が設置され、学生による授業アンケートや教員間の授業参観などが実施されている。しかしながら、一部の大学で、それらを教育内容・方法の改善に結びつけるための組織的な取り組みが行われていない法科大学院もあり、組織的な取り組みのための体制の構築について今後改善を図っていくことが検討されている。

(4) 積極的な情報公開の促進

入学者選抜の状況や教育内容を含むシラバスなど様々な情報については、多くの法科大学院でHP等で公開されているが、修了認定状況について公表している法科大学院はごく少数に限られていた。今後、多くの法科大学院で、修了認定状況を公表する予定である。

法科大学院一覽

(平成20年度)

大 学 数		入 学 定 員
総計	74 大学	5,795 人
国立	23 大学	1,760 人
公立	2 大学	140 人
私立	49 大学	3,895 人

区分	大 学 院 名	研究科・専攻名	入 学 定 員 人	開設年度	
1	国立	北海道大学大学院	法学研究科 法律実務専攻	100	平成16年度
2	国立	東北大学大学院	法学研究科 綜合法制専攻	100	平成16年度
3	国立	千葉大学大学院	専門法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
4	国立	筑波大学大学院	ビジネス科学研究科 法曹専攻	40	平成17年度
5	国立	東京大学大学院	法学政治学研究科 法曹養成専攻	300	平成16年度
6	国立	一橋大学大学院	法学研究科 法務専攻	100	平成16年度
7	国立	横浜国立大学大学院	国際社会科学研究所 法曹実務専攻	50	平成16年度
8	国立	新潟大学大学院	実務法学研究科 実務法学専攻	60	平成16年度
9	国立	信州大学大学院	法曹法務研究科 法曹法務専攻	40	平成17年度
10	国立	静岡大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成17年度
11	国立	金沢大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
12	国立	名古屋大学大学院	法学研究科 実務法曹養成専攻	80	平成16年度
13	国立	京都大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	200	平成16年度
14	国立	大阪大学大学院	高等司法研究科 法務専攻	100	平成16年度
15	国立	神戸大学大学院	法学研究科 実務法律専攻	100	平成16年度
16	国立	島根大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	30	平成16年度
17	国立	岡山大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
18	国立	広島大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
19	国立	香川大学・愛媛大学大学院(連合)	香川大学・愛媛大学連合法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
20	国立	九州大学大学院	法務学府 実務法学専攻	100	平成16年度
21	国立	熊本大学大学院	法曹養成研究科 法曹養成専攻	30	平成16年度
22	国立	鹿児島大学大学院	司法政策研究科 法曹実務専攻	30	平成16年度
23	国立	琉球大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
	国立計	23大学		1,760 人	
24	公立	首都大学東京大学院	社会科学研究所 法曹養成専攻	65	平成16年度
25	公立	大阪市立大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	75	平成16年度
	公立計	2大学		140 人	
26	私立	北海学園大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成17年度
27	私立	東北学院大学大学院	法務研究科 法実務専攻	50	平成16年度
28	私立	白鷗大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
29	私立	大宮法科大学院大学	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
30	私立	獨協大学大学院	法務研究科 法曹実務専攻	50	平成16年度
31	私立	駿河台大学大学院	法務研究科 法曹実務専攻	60	平成16年度
32	私立	青山学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
33	私立	学習院大学大学院	法務研究科 法務専攻	65	平成16年度
34	私立	慶應義塾大学大学院	法務研究科 法務専攻	260	平成16年度
35	私立	國學院大学大学院	法務研究科 法務職専攻	50	平成16年度
36	私立	駒澤大学大学院	法曹養成研究科 法曹養成専攻	50	平成16年度
37	私立	上智大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	100	平成16年度
38	私立	成蹊大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
39	私立	専修大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
40	私立	創価大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
41	私立	大東文化大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
42	私立	中央大学大学院	法務研究科 法務専攻	300	平成16年度
43	私立	東海大学大学院	実務法学研究科 実務法律学専攻	50	平成16年度
44	私立	東洋大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度

	区分	大学院名	研究科・専攻名	人学定員	開設年度
45	私立	日本大学大学院	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
46	私立	法政大学大学院	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
47	私立	明治大学大学院	法務研究科 法務専攻	200	平成16年度
48	私立	明治学院大学大学院	法務職研究科 法務専攻	80	平成16年度
49	私立	立教大学大学院	法務研究科 法務専攻	70	平成16年度
50	私立	早稲田大学大学院	法務研究科 法務専攻	300	平成16年度
51	私立	神奈川大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
52	私立	関東学院大学大学院	法務研究科 実務法学専攻	30	平成16年度
53	私立	桐蔭横浜大学大学院	法務研究科 法務専攻	70	平成16年度
54	私立	山梨学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
55	私立	愛知大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
56	私立	愛知学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	35	平成17年度
57	私立	中京大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
58	私立	南山大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
59	私立	名城大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
60	私立	京都産業大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
61	私立	同志社大学大学院	司法研究科 法務専攻	150	平成16年度
62	私立	立命館大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	150	平成16年度
63	私立	龍谷大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成17年度
64	私立	大阪学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
65	私立	関西大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	130	平成16年度
66	私立	近畿大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
67	私立	関西学院大学大学院	司法研究科 法務専攻	125	平成16年度
68	私立	甲南大学大学院	法学研究科 法務専攻	60	平成16年度
69	私立	神戸学院大学大学院	実務法学研究科 実務法学専攻	60	平成16年度
70	私立	姫路獨協大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
71	私立	広島修道大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
72	私立	久留米大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
73	私立	西南学院大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	50	平成16年度
74	私立	福岡大学大学院	法曹実務研究科 法務専攻	50	平成16年度
	私立計	49大学		3,895人	
	合計	74大学		5,795人	

法科大学院一覽

(平成21年度)

大 学 数		入 学 定 員
総計	74 大学	5,765 人
国立	23 大学	1,760 人
公立	2 大学	140 人
私立	49 大学	3,865 人

区分	大 学 院 名	研究科・専攻名	入 学 定 員 人	開 設 年 度	
1	国立	北海道大学大学院	法学研究科 法律実務専攻	100	平成16年度
2	国立	東北大学大学院	法学研究科 綜合法制専攻	100	平成16年度
3	国立	千葉大学大学院	専門法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
4	国立	筑波大学大学院	ビジネス科学研究科 法曹専攻	40	平成17年度
5	国立	東京大学大学院	法学政治学研究科 法曹養成専攻	300	平成16年度
6	国立	一橋大学大学院	法学研究科 法務専攻	100	平成16年度
7	国立	横浜国立大学大学院	国際社会科学研究科 法曹実務専攻	50	平成16年度
8	国立	新潟大学大学院	実務法学的研究科 実務法学専攻	60	平成16年度
9	国立	信州大学大学院	法曹法務研究科 法曹法務専攻	40	平成17年度
10	国立	静岡大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成17年度
11	国立	金沢大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
12	国立	名古屋大学大学院	法学研究科 実務法曹養成専攻	80	平成16年度
13	国立	京都大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	200	平成16年度
14	国立	大阪大学大学院	高等司法研究科 法務専攻	100	平成16年度
15	国立	神戸大学大学院	法学研究科 実務法律専攻	100	平成16年度
16	国立	島根大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	30	平成16年度
17	国立	岡山大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
18	国立	広島大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
19	国立	香川大学・愛媛大学大学院(連合)	香川大学・愛媛大学連合法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
20	国立	九州大学大学院	法務学府 実務法学専攻	100	平成16年度
21	国立	熊本大学大学院	法曹養成研究科 法曹養成専攻	30	平成16年度
22	国立	鹿児島大学大学院	司法政策研究科 法曹実務専攻	30	平成16年度
23	国立	琉球大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
	国立計	23大学		1,760 人	
24	公立	首都大学東京大学院	社会科学研究科 法曹養成専攻	65	平成16年度
25	公立	大阪市立大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	75	平成16年度
	公立計	2大学		140 人	
26	私立	北海学園大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成17年度
27	私立	東北学院大学大学院	法務研究科 法実務専攻	50	平成16年度
28	私立	白鷗大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
29	私立	大宮法科大学院大学	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
30	私立	獨協大学大学院	法務研究科 法曹実務専攻	50	平成16年度
31	私立	駿河台大学大学院	法務研究科 法曹実務専攻	60	平成16年度
32	私立	青山学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
33	私立	学習院大学大学院	法務研究科 法務専攻	65	平成16年度
34	私立	慶應義塾大学大学院	法務研究科 法務専攻	260	平成16年度
35	私立	國學院大学大学院	法務研究科 法務職専攻	50	平成16年度
36	私立	駒澤大学大学院	法曹養成研究科 法曹養成専攻	50	平成16年度
37	私立	上智大学大学院	法学研究科 法曹養成専攻	100	平成16年度
38	私立	成蹊大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
39	私立	専修大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
40	私立	創価大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
41	私立	大東文化大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
42	私立	中央大学大学院	法務研究科 法務専攻	300	平成16年度
43	私立	東海大学大学院	実務法学的研究科 実務法律学専攻	50	平成16年度
44	私立	東洋大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度

	区分	大学院名	研究科・専攻名	人学定員	開設年度
45	私立	日本大学大学院	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
46	私立	法政大学大学院	法務研究科 法務専攻	100	平成16年度
47	私立	明治大学大学院	法務研究科 法務専攻	200	平成16年度
48	私立	明治学院大学大学院	法務職研究科 法務専攻	80	平成16年度
49	私立	立教大学大学院	法務研究科 法務専攻	70	平成16年度
50	私立	早稲田大学大学院	法務研究科 法務専攻	300	平成16年度
51	私立	神奈川大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
52	私立	関東学院大学大学院	法務研究科 実務法学専攻	30	平成16年度
53	私立	桐蔭横浜大学大学院	法務研究科 法務専攻	70	平成16年度
54	私立	山梨学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
55	私立	愛知大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
56	私立	愛知学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	35	平成17年度
57	私立	中京大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
58	私立	南山大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
59	私立	名城大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
60	私立	京都産業大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
61	私立	同志社大学大学院	司法研究科 法務専攻	150	平成16年度
62	私立	立命館大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	150	平成16年度
63	私立	龍谷大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成17年度
64	私立	大阪学院大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
65	私立	関西大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	130	平成16年度
66	私立	近畿大学大学院	法務研究科 法務専攻	60	平成16年度
67	私立	関西学院大学大学院	司法研究科 法務専攻	125	平成16年度
68	私立	甲南大学大学院	法学研究科 法務専攻	60	平成16年度
69	私立	神戸学院大学大学院	実務法学研究科 実務法学専攻	60	平成16年度
70	私立	姫路獨協大学大学院	法務研究科 法務専攻	30	平成16年度
71	私立	広島修道大学大学院	法務研究科 法務専攻	50	平成16年度
72	私立	久留米大学大学院	法務研究科 法務専攻	40	平成16年度
73	私立	西南学院大学大学院	法務研究科 法曹養成専攻	50	平成16年度
74	私立	福岡大学大学院	法曹実務研究科 法務専攻	30	平成16年度
	私立計	49大学		3,865人	
	合計	74大学		5,765人	